

# ユーザーマニュアル

Bluetoothキーボード 薄型軽量ケース for Nexus 7(2012年モデル) MK5000N

## 【製品内容】

1. Bluetoothワイヤレスキーボード
  2. USB充電ケーブル
  3. ユーザーガイド(説明書)
- ※Nexus 7は付属していません。また、付属のUSBケーブルは本製品の充電用です。Nexus 7の充電には対応していません。



## 1. 製品の特徴

1. 内蔵式ワイヤレスBluetooth3.0キーボード
2. 背面のデザインはNexus 7との相性が抜群
3. 安定感と見やすさを追求したNexus 7専用スタンド
4. 充電可能なリチウム電池(55時間連続使用可能)を内蔵
5. 軽量薄型でキーストロークも静か

## Bluetoothキーボードの詳細と設定

### 2. キーボードの詳細

1. Bluetooth 3.0 インターフェース使用
2. 使用電圧:3.0 ~ 5.0V
3. 通常使用電流:5.0mA以下
4. 待ち受け時使用電流:2.5mA
5. スリープ時使用電流:200 μA以下
6. 充電時使用電流:100mA以上
7. 連続待機時間:60日
8. 充電時間:4 ~ 5時間
9. リチウム電池容量:160mA
10. 連続使用時間:約55時間
11. リチウム電池耐用期間:3年

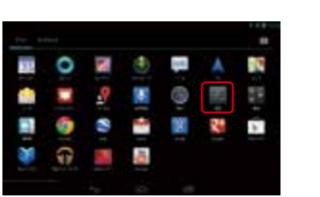
### 3. Bluetoothキーボードの設定方法

step1 電源を入れると「Bluetoothランプ」が点灯してから自動的に消灯します。

step2 「Connect」ボタンを押すと、「Bluetoothランプ」が点滅します。キーボードが作動可能な状態となったので、Nexus 7でBluetoothの設定を行います。



step3 「設定」アイコンをタッチします。



step4 設定のメニューより「無線とネットワーク」を選択し、「Bluetooth」の設定を行います。Nexus 7が自動的に接続可能なデバイスを探します。



step5 「Bluetooth」の設定画面でキーボードが認識されたらキーボードを選択します。



### 5. 充電

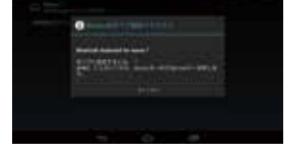
キーボードの充電は下記の方法で行います。

step1 USB充電ケーブルをキーボードのUSBポートに接続します。

step2 USB充電ケーブルのもう一方をパソコンなどのUSBポートへ接続します。

step3 充電中は電源スイッチ上の赤いランプが点灯します。充電が完了すると赤いランプが消えます。

step6 PINコードをキーボードで入力してください。



表示されたPINコードをキーボードで入力します

### 6. 安全面でのご注意

1. 本製品が傷つくななど硬くて扱い物の近くでのご使用は行わないでください。
2. キーボードの上に重い物を置かないでください。
3. 電子レンジなどの電磁波を発する機械の近くでご使用は行わないでください。
4. ねじ曲げたり、引き伸ばしたりしないでください。
5. 水を含んだ液体や有機溶液の近くでのご使用は行わないでください。
6. 本製品はNexus 7を収納した際、Nexus 7本体をしっかりと保護するためにケースが外れにくく形状になってしまいますが、ケースを外す場合は両手でケースとNexus 7をしっかりと持った状態で、ケースとNexus 7の間に爪を挟んで開けると簡単に外すことができます。

### 7. クリーニング

キーボードのシリコン部分を水、または除菌用液を含ませてよく洗ったやわらかい布で清掃してください。なお、本製品は直接水洗いしないでください。故障の原因となります。

### 8. トラブルシューティング

- (A)接続ができない  
1. 電源が入っていないかご確認ください。  
2. キーボードとNexus 7が通信可能な範囲内にあることをご確認ください。  
3. 充電されていることをご確認ください。  
4. Nexus 7のBluetoothの設定をご確認ください。  
5. キーボードがNexus 7にBluetooth接続されていることをご確認ください。

### (B)キーボードの充電ができない

1. USB充電ケーブルがキーボードとパソコンなどの電源供給元に接続されていることをご確認ください。

### 9. 特殊なキー

特殊機能を使用する際のショートカットキーについて下記ページにて詳細を説明しています。ご参照ください。

<http://www.magrex.co.jp/plusm/mk/mk5000/index.html>

#### Federal Communication Commission Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and

radiates radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception, which can be corrected by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one of the following measures:

Reorient or relocate the receiving antenna.  
Increase the separation between the equipment and receiver.  
Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1)This device may not cause harmful interference, and  
(2)This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

IMPORTANT:  
FCC Radiation Exposure Statement:

1. This equipment complies with FCC radiation exposure limits set for an uncontrolled environment.  
End users must follow the specific operation instructions for using in controlled environments.

2. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

※Nexus 7はGoogle社の登録商標です。

※BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N

※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

※FCC ID: 2ABDQ-AK0000N  
※IC: 20953-AK0000N

※Ringer ID: 2ABDQ-AK0000N  
※Ringer Name: Magrex

## サポートについて

本製品のサポートはマグレックス株式会社が行います。ユーザー登録していただけますと、弊社より各種サポートを提供いたします。

ユーザー登録ページ <https://www.magrex.co.jp/regist/regist.php>  
ユーザー登録はマグレックスホームページにて行います。

メールサポート	support@magrex.co.jp ※メールサポートのご利用には製品のユーザー登録が必要です。
メールサポート 受付時間	24時間 ※回答はメールで返信いたします。 ※弊社休業日にいたしました場合、翌営業日以降の回答となります。 あらかじめご了承ください。(弊社休業日:土曜日、年末年始、その他サポート業務を休業する場合はホームページ上でご案内いたします。)
サポート対象者	1名 ※対象商品をお持ちで、ユーザー登録が完了しているユーザー様。
サポート期間	製品のご販売後 1年間 ※ご登録日から1年以内に当該製品の開発終了より1年間でサポートの受付を終了いたします。あらかじめご了承ください。

サポートメールの記入について  
メールの件名を「MK5000Nのサポート」としてください。  
メール本文に次の内容をご記入ください。  
・お名前  
・お問い合わせの内容(できるだけ詳しくお書きください)

## ご使用上の注意

この度は弊社製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用の前に本マニュアルをよくお読みいただき、ご使用方法、注意事項などをご確認ください。  
また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管してください。

### ■ キーボードの表記通りに入力できるようにする設定の手順

本製品のキーボードはUS配列です。Nexus 7の日本語入力のシステムはJIS配列キーによるに準拠した設定のため、記号によってはUS配列のキーボードの表示通りに表示されません。そのため、アプリのインストールと設定が必要になります。

- 1 Google Playストアで「Google日本語入力」をダウンロード＆インストールします。
- 2 設定画面で「言語と入力」をタップして、「キーボードと入力方法」で「Google日本語入力Beta」をタップして選択します。
- 3 「Google日本語入力Beta」をタップして選択した後、右端の設定アイコンをタップします。
- 4 「Google日本語入力Beta」の設定画面で「ハードウェアキーボード」の設定をタップします。
- 5 「キーマップの設定」をタップして、キーマップの選択で「システム配列」をタップします。

以上で設定は完了です。  
日本語と英数の切り替えは画面左下をタップして切り替えてください。

※Nexus 7に外部から接続したキーボードを使ってGoogle Chromeで日本語入力を行った際に、始めの1文字目が1回のキー入力で2回入力になる現象(チャタリング)も、「Google日本語入力」を使用することで発生しなくなります。

PANTONE 382C